

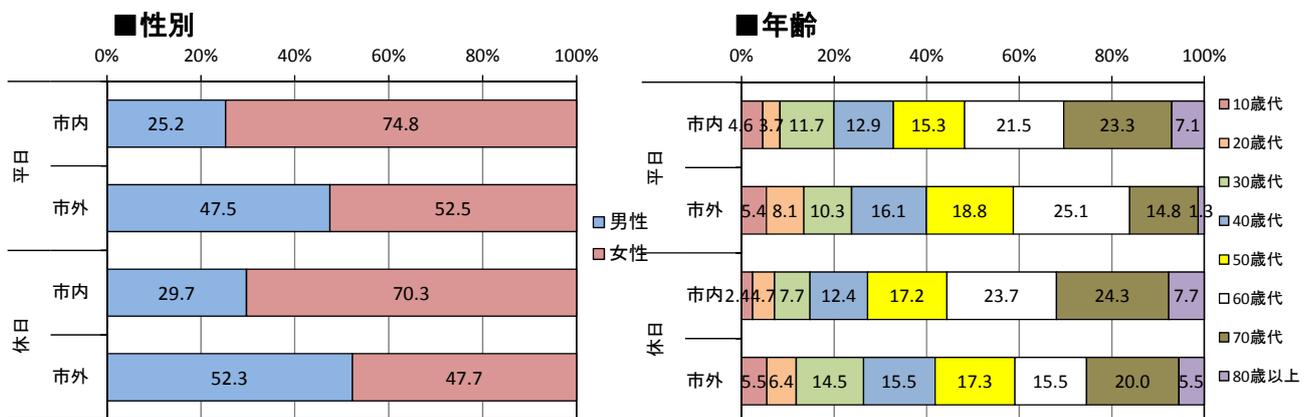
2-5 交通機関乗継調査（小田原駅）

■交通機関乗継調査概要

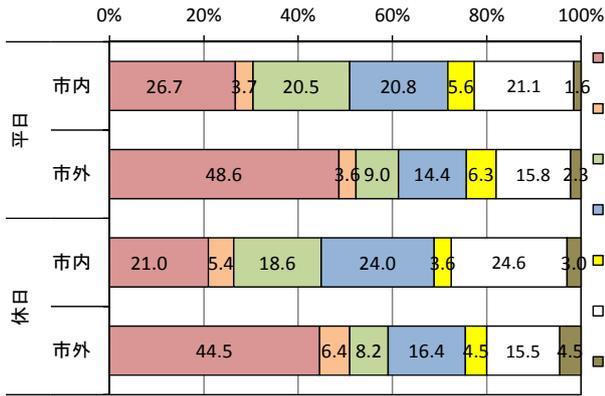
対象者	小田原駅から路線バスを利用する人
調査方法	小田原駅のバス乗り場で、路線バスを待っている人や路線バスに乗り込む利用者に対して、調査員が直接配布、郵送回収
調査日時	○平日：平成24年3月14日（水）、7時00分～19時00分 ○休日：平成24年3月11日（日）、7時00分～19時00分
配布・回答状況	○平日：配布2,592票、回収551票（21.3%） ○休日：配布1,249票、回収280票（22.4%）
調査項目	○小田原駅からバスを利用する人の属性 ○小田原駅からバスを利用する人の移動実態 ○利用した路線バスの情報収集 ○鉄道と路線バスの乗換えで困ったこと ○利用した路線バスの満足度

（1）回答者の属性

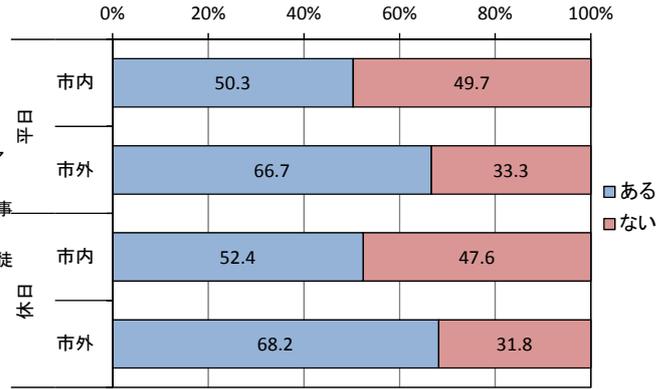
- ・居住地について「市内」が約6割、「市外」の割合が約4割。性別について市外居住者より市内居住者の「女性」の割合が高く、約7割。年齢について市外居住者より市内居住者の「60歳以上」の割合が高く、5～6割程度。
- ・職業について、市内居住者は「会社員」「パート・アルバイト」「主婦・家事手伝い」「無職」の割合が同程度で約2割を、市外居住者は「会社員」の割合が高く、4～5割程度。
- ・運転免許の保有について、市内居住者より市外居住者の「ある」の割合が高く、約7割。
- ・最寄り駅までの徒歩による所要時間について、「10分未満」の割合は、市内居住者が2割未満で、市外居住者が3～4割程度を、最寄りバス停までの徒歩による所要時間について、「10分未満」の割合が8割以上。
- ・鉄道の利用頻度について、「週5日以上」利用は、市外居住者の割合が約5割で、市内居住者の割合が2～3割程度。
- ・路線バスの利用頻度について、「週3回以上」利用の割合は5割以上。



職業



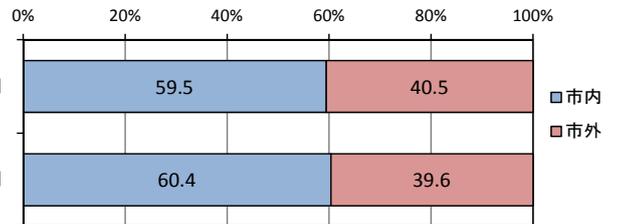
自動車の運転免許有無



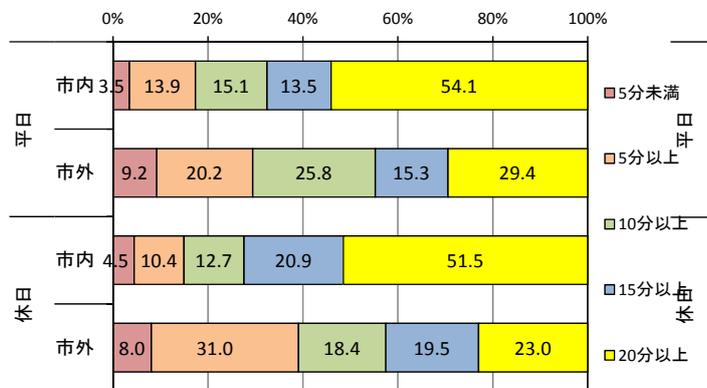
自動車の所有状況



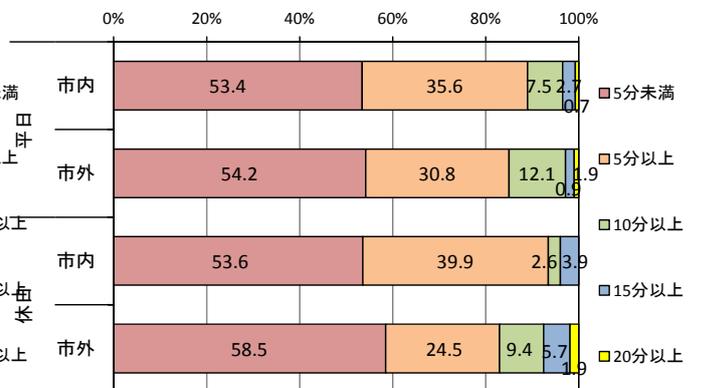
住まい



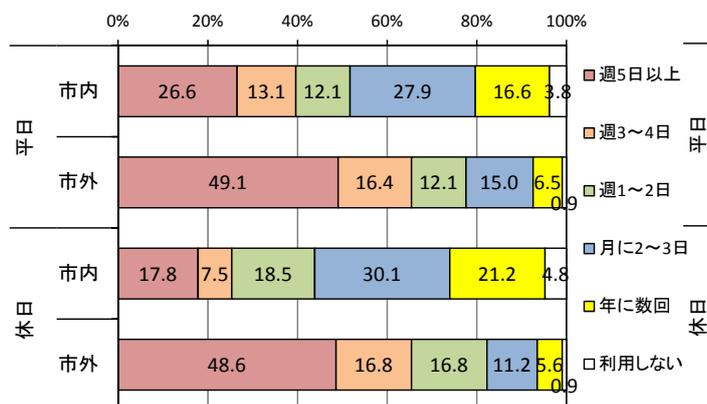
住まいから最寄り駅までの徒歩時間



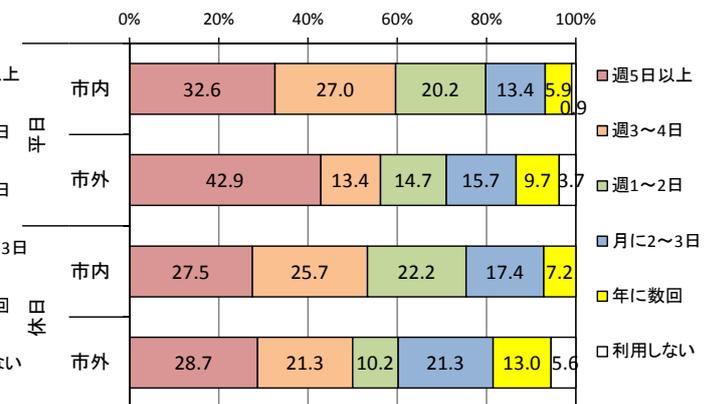
住まいから最寄りバス停までの徒歩時間



鉄道の利用頻度



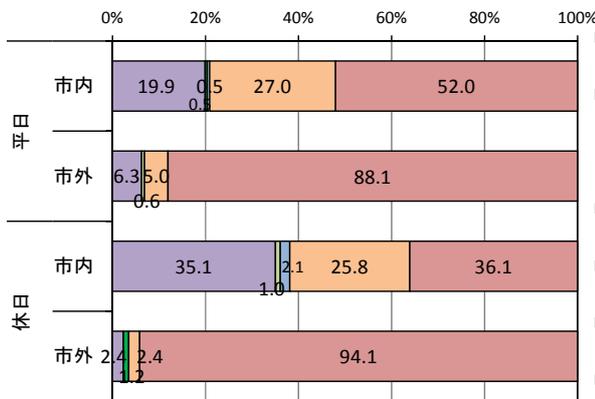
路線バスの利用頻度



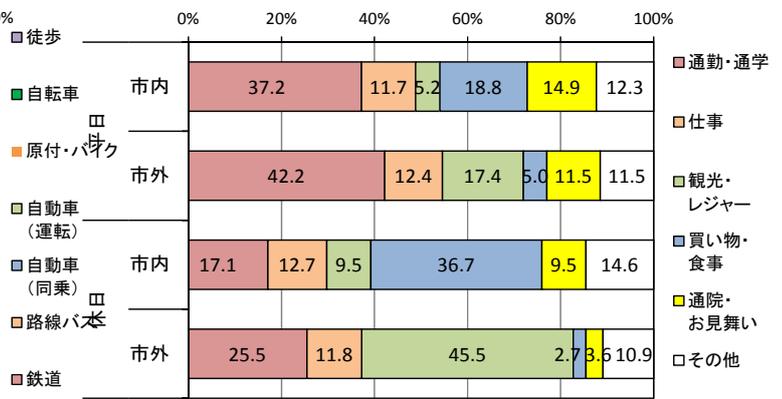
(2) アンケート票を受け取った時の移動について

- ・小田原駅までの交通手段について、市外居住者は平日・休日とも「鉄道」利用の割合が約9割。市内居住者は、平日は「鉄道」「路線バス」「徒歩」の順に割合が高く、休日は「鉄道」「路線バス」「徒歩」の割合が同程度で、約3割。
- ・路線バスの利用目的について、平日は、市内・市外居住者とも「通勤・通学」と「仕事」の割合の合計が約5割。休日は、市内居住者で「買い物・食事」の割合が約4割、市外居住者で「観光・レジャー」の割合が高く、約5割。
- ・バス運賃の支払い方法について、「PASMO、Suica など」の割合が約7割。今回利用した路線バスの利用頻度について、市内居住者は、平日・休日とも「月に1回以上利用している」の割合が約8割。市外居住者は、平日で「月に1回以上利用している」の割合が約6割、休日で約5割。

■小田原駅までの交通手段

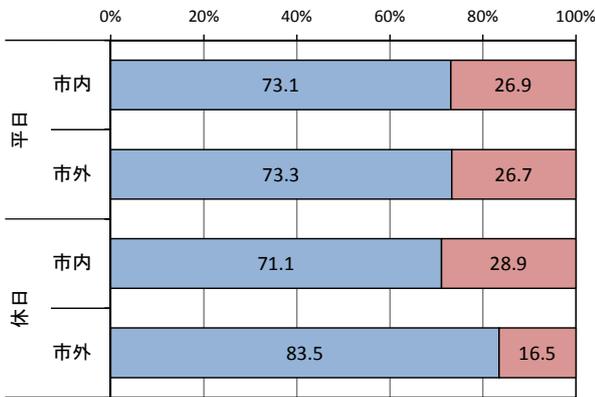


■外出目的

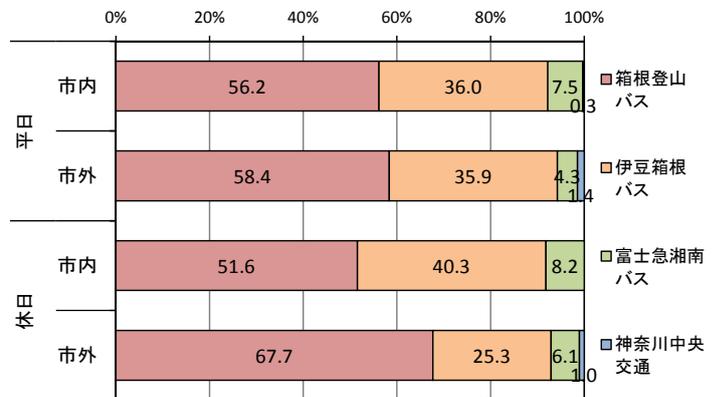


■小田原駅から乗車した路線バス

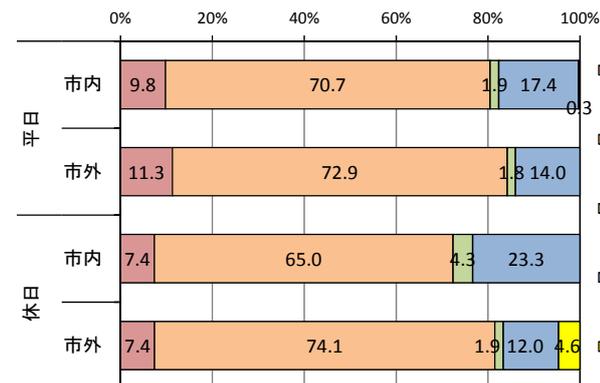
【乗り場】



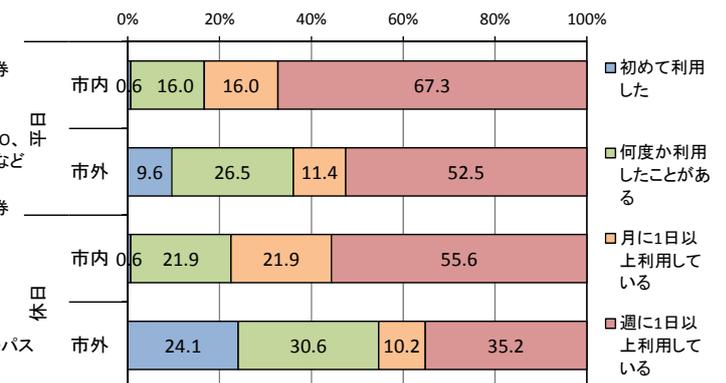
【バス事業者】



【支払い方法】



【この路線の利用頻度】

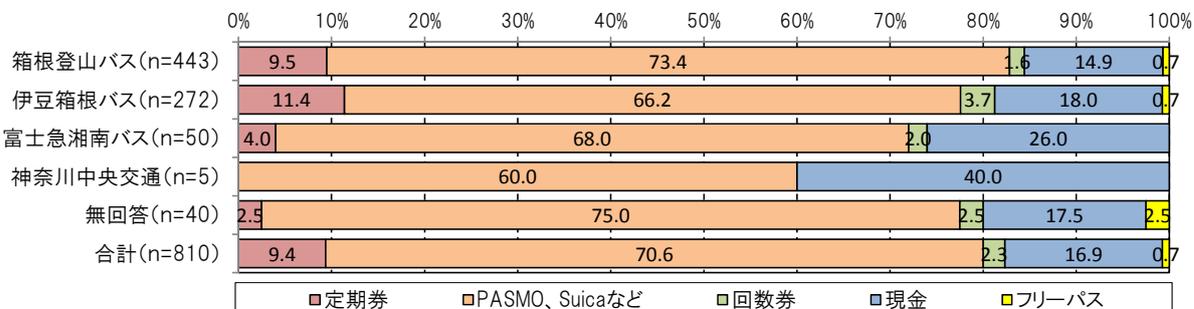


※支払い方法に対する分析

○事業者別支払い方法

調査結果における事業者毎のPASMO、Suicaなどの利用率は、箱根登山バス73.4%、伊豆箱根バス66.2%、富士急湘南バス68.0%、神奈川中央交通60.0%となっている。定期券の割合は伊豆箱根バスが他社に比べて多く、現金は神奈川中央交通が多くなっている。

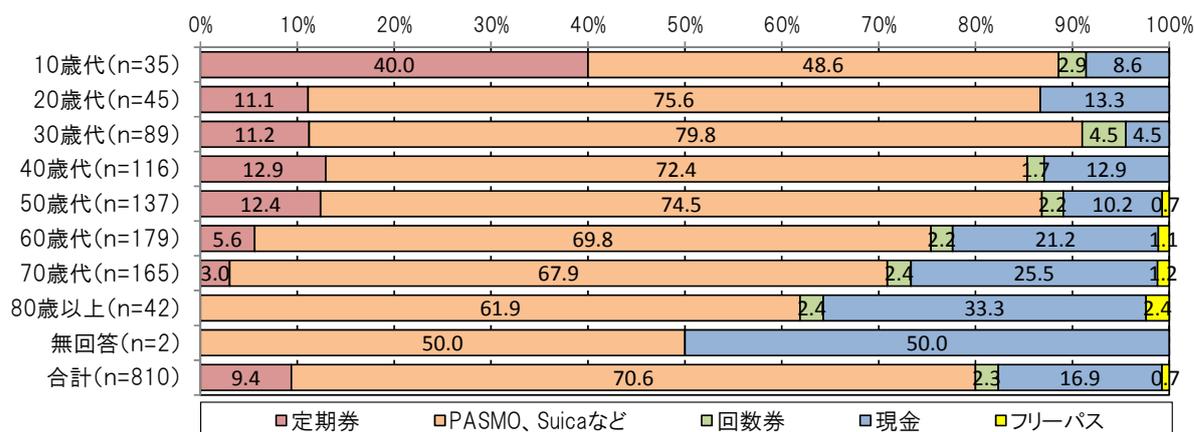
■事業者×支払い方法



○年代別支払い方法

定期券については、学生の多い10歳代では40%と最も多く、20～50歳代では、11～13%程度と同程度の割合を占めている。60歳以上の高齢者においては、年代が上がるほど、定期券の割合が減少し、現金の割合が多く、フリーパスの利用は80歳以上の利用が最も多くなっている。

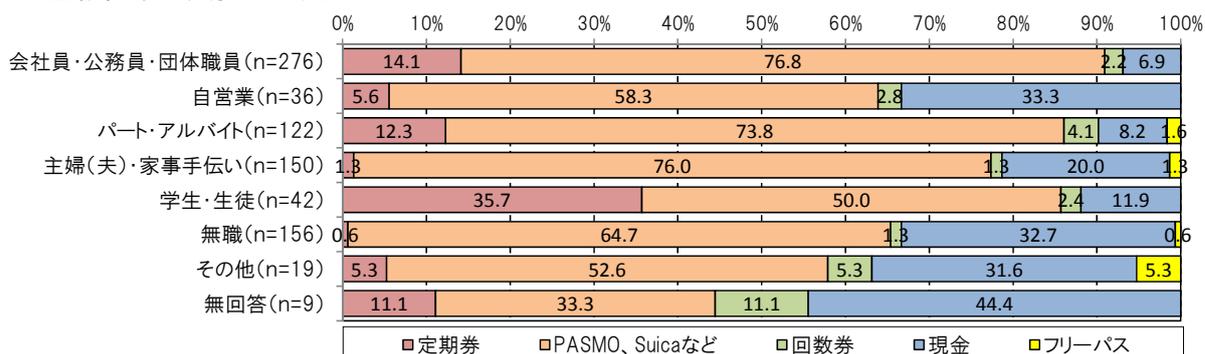
■年代×支払い方法



○職業別支払い方法

学生・生徒において、定期券の割合が高くなっている。会社員・公務員・団体職員やパート・アルバイトでは、PASMO、Suicaなどの割合が高く、定期券の割合も10%以上みられる。自営業、無職では現金の割合が高く、主婦(夫)・家事手伝いの方は、定期券の割合が低く、PASMO、Suicaなどが多くあり、現金も20%みられる。

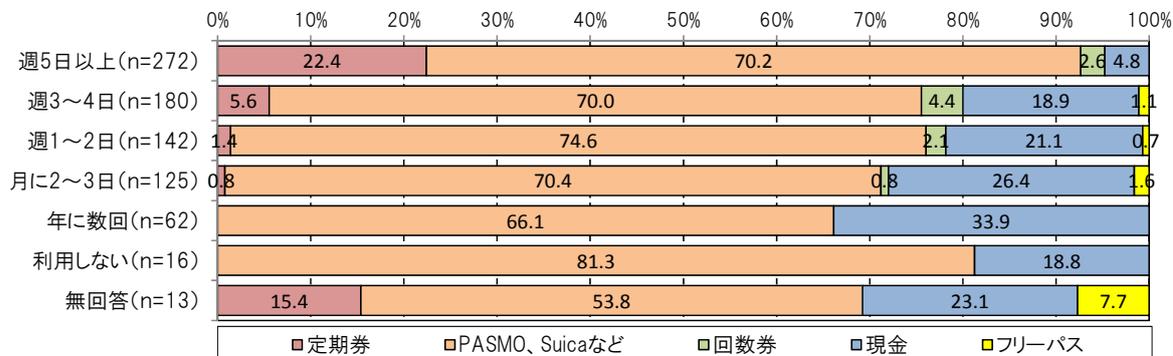
■職種業×支払い方法



○利用頻度別支払い方法

週5日以上の利用において定期券の割合が最も高く、利用頻度が少なくなるほど、定期券の利用率は減少し、現金の利用率が高くなっている。利用している中では、週1~2日の利用においてPASMO、Suicaなどの割合が最も高くなっている。

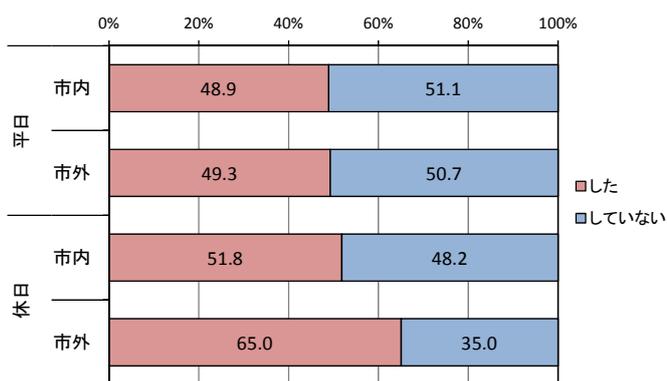
■バス利用頻度×支払い方法



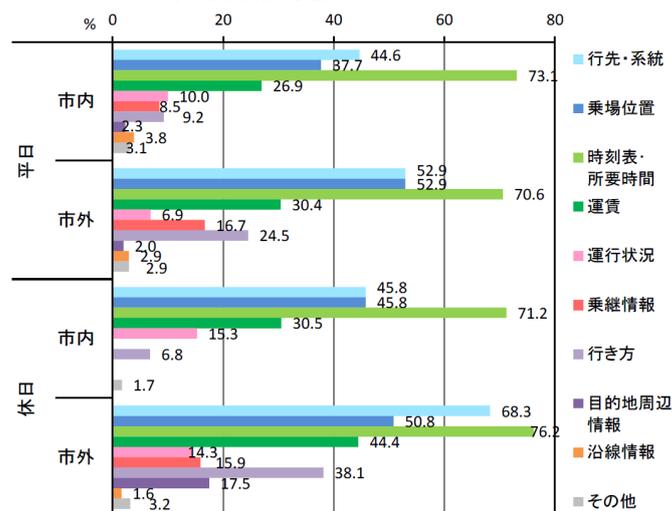
(3) 今回、利用した路線バスの情報収集について

- 小田原駅に到着するまでの事前の情報収集について、市内居住者の平日・休日および市外居住者の平日より休日の市外居住者は「事前に情報収集した」割合が高く、約7割。
- 事前に収集した情報の内容について、「時刻表・所要時間」の割合が最も高く、約7割。休日の市外居住者では、「行先・系統」の割合も高く、約7割。
- 事前に収集した情報の情報源について、「バス事業者のHP」の割合が高く、3~4割程度。
- バスに乗るまでに気づいたバス情報案内について、「バス停の時刻表（東口1階、西口）」「バス乗り場案内（東口2階）」「バス乗り場案内（東口1階）」の順に、役に立った割合が高い。また、休日の市外居住者をみると、「バス乗り場誘導案内（自由通路・自由通路床面・東口2階）」「バス乗り場のガイドさん（東口1階）」で、平日や休日の市内居住者よりも役に立った割合が高い。

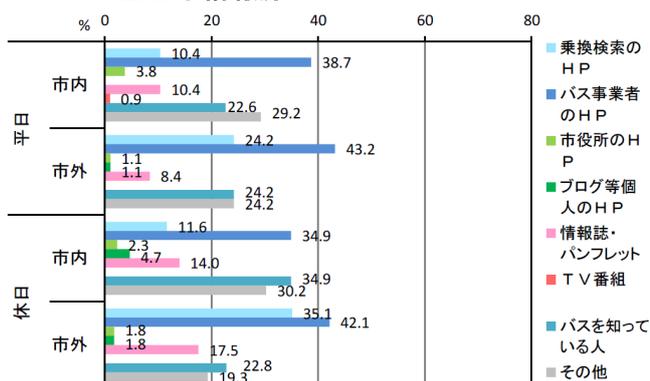
■小田原駅に到着するまでに事前の情報収集有無



■収集した情報内容



■主な情報源



■バスに乗るまで気付いたバス情報案内

【バス乗り場案内図（東口2階）】



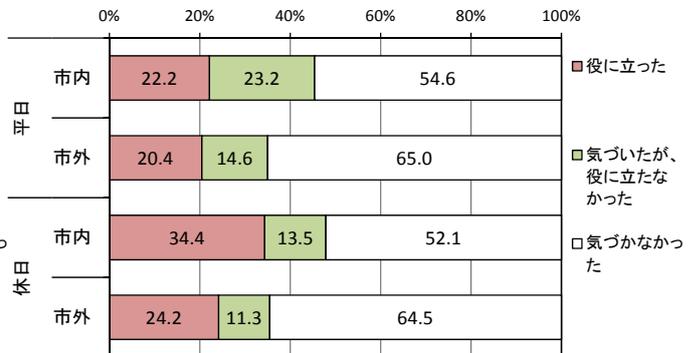
【バス乗り場案内図（東口1階）】



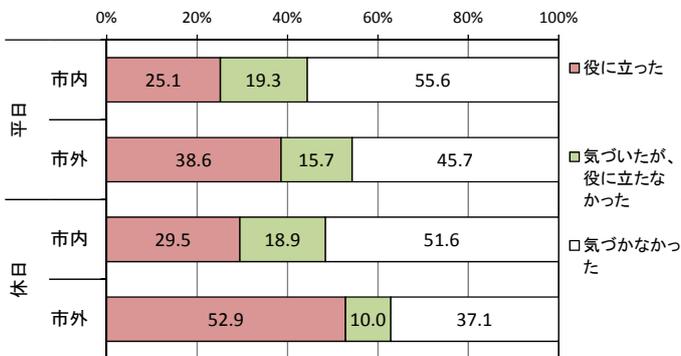
【バス乗り場案内図（東口地下）】



【バス乗り場案内図（西口）】



【バス乗り場誘導案内（自由通路）】



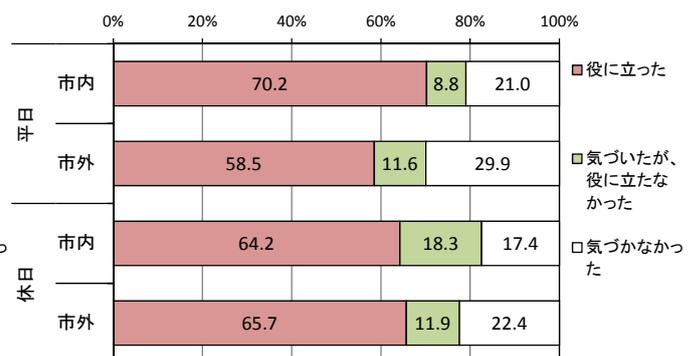
【バス乗り場誘導案内（自由通路床面）】



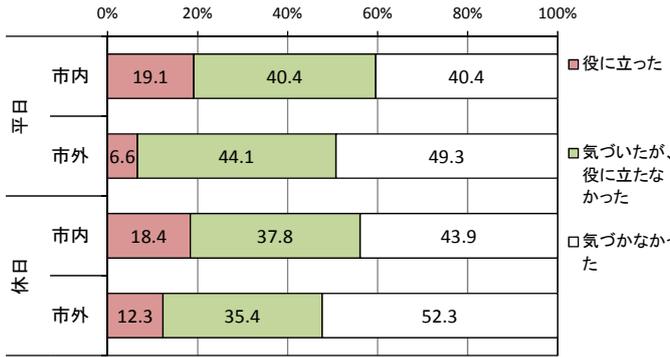
【バス乗り場誘導案内（東口2階）】



【バス停の時刻表（東口1階、西口）】



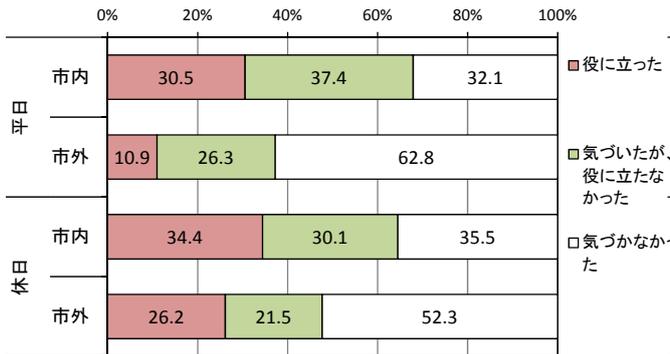
【観光案内所（自由通路）】



【観光案内のガイドさん（自由通路）】



【バス事業所営業所（東口1階）】



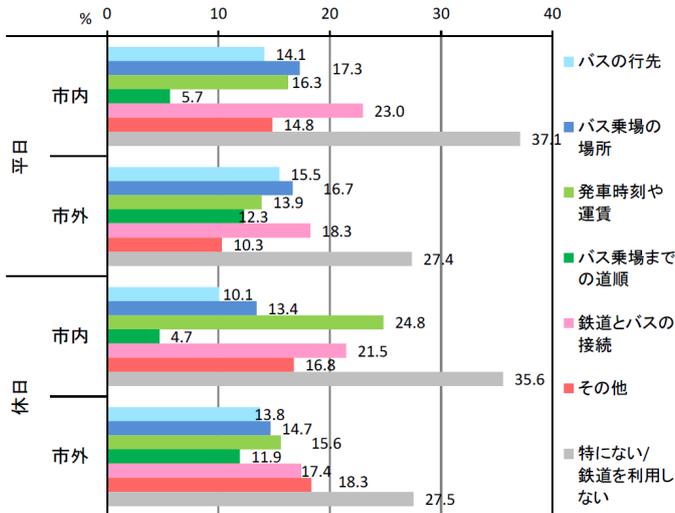
【バス乗り場のガイドさん（東口1階）】



(4) 今回、利用した路線バスについて

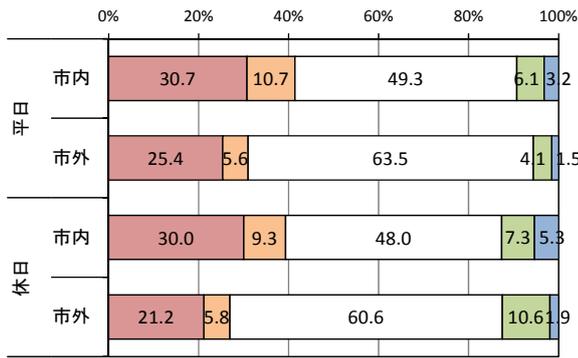
- ・鉄道と路線バス間の乗り換えで困ったことについて、「特にない／鉄道を利用しない」より高い項目はないが、市内居住者は、「鉄道とバスのダイヤの接続が悪い」「乗りたいバスの、発車時刻や運賃がわからない」の割合が高い。
- ・利用した路線バスの満足度について、満足とやや満足の割合の合計が高いのは、「運行ルート」「バス停位置」「車両の清潔さ」「運転手の態度」、一方、不満とやや不満の割合の合計が高いのは、「出発時刻」「運賃」。

■鉄道と路線バス間の乗換えで困ったこと

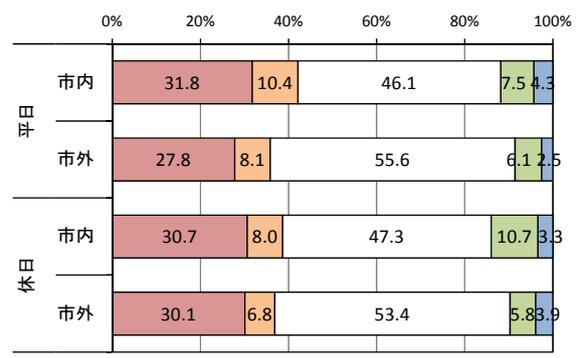


■利用した路線バスの満足度

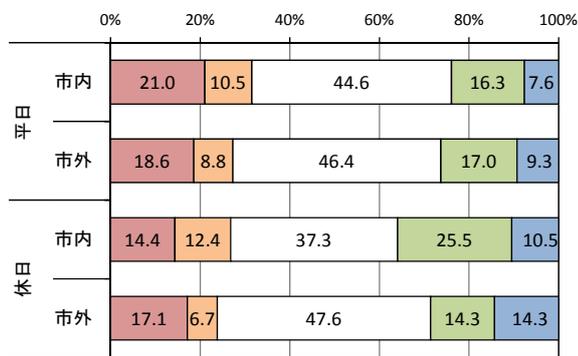
【運行ルート】



【バス停位置】



【出発時刻】



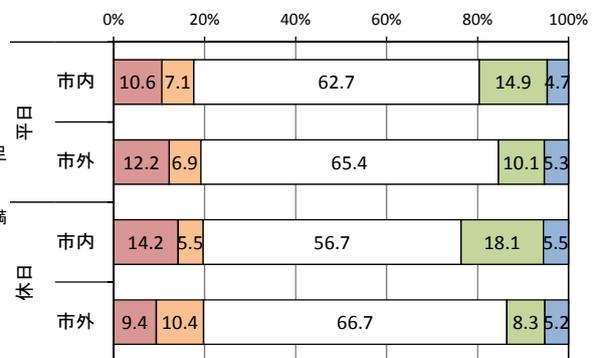
【目的地までの所要時間】



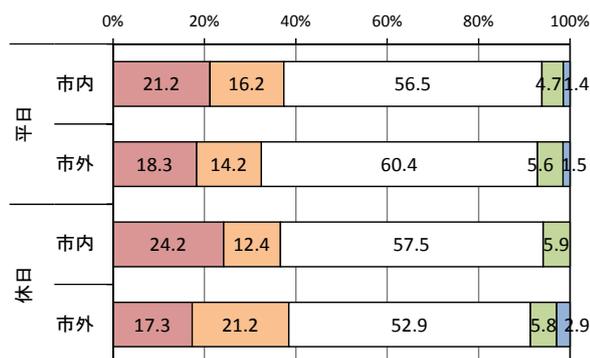
【運賃】



【情報提供】



【車両の清潔さ】



【運転手の態度】

